



雫の里農園 イチゴ栽培に取り組む戸田康裕さん(右)とスタッフ

CONTENTS

クローズアップ この経営者！ 2 ページ
こだわりのイチゴ オリジナルを貫く
— キーワードは「大学との連携」 —
雫の里農園（亀岡市）

チャレンジ農業法人 4 ページ
九条ねぎブランドをさらなる高みへ
— 毎日出荷、顧客ニーズに柔軟に対応 —
ロックファーム京都 株式会社（久御山町）

消費税の軽減税率 6 ページ

京都府農業経営相談所からのお知らせ 6 ページ
京都府農業法人経営者会議表敬訪問 7 ページ
交流サロン開催 7 ページ

農業法人ニュース 8 ページ
— 京都府農業法人経営者会議の取り組み —
■令和元年度 第24回京都府農業法人経営者会議総会を開催
■経営力向上セミナー『部下』がやる気に燃えるリーダーの言葉かけ
編集局から 8 ページ

クローズアップ

この経営者！

こだわりイチゴ オリジナルを貫く

——キーワードは「大学との連携」——



「地域農業のために何か貢献出来れば」と戸田さん

亀岡市・雫の里農園

戸田 康裕さん(34)

東京都出身の戸田さんは2017年7月、亀岡市で新規就農した。就農当初から科学的な栽培方法にトコトンこだわり、イチゴが持つ本来の力を引き出すことに日々挑戦。現在はハウス5棟(計17a)で栽培、観光農園(イチゴ狩り)や洋菓子店などへの直接販売に取り組んでいる。そんな戸田さんの次なる目標は、イチゴを使ったジェラートを開発、京阪神を中心に販売していくことだ。

農業にビジネスチャンスあり

雫の里農園は、53aのほ場(借地)でハウス5棟(計17a)を使っているイチゴの高設栽培を経営の柱に、ナスやトマトなどの夏野菜、黒大豆枝豆や大根、白菜などの秋冬野菜も栽培している。

戸田さんは大学の農学部出身で、「大学時代から農業には多くのビジネスチャンスがあると考えていた

が、新規参入者には厳しいことを知り、事業を始める人脈や資金づくりを」と、卒業後はいったん大手都銀に就職。その初任地がたまたま京都府内だったこともあり、府内での農業開始に向けて人脈と就農資金づくりの準備を着々と進めてきた。

就職して5年後に銀行を退職、亀岡の先進農家である、眞継公哉さんのもとで1年余の研修を受ける一方、地域の農家による指導、地主の応援、行政の協力を得ながら2017年7月、雫の里農園を開設した。



「いいものを提供したい」。
その思いが皆を支える(左から林さん、戸田さん、パートさん)

大学で得た知識を実践へ

イチゴ栽培を始めて今年で3期目。イチゴの出来栄に自信を持つまでに戸田さんオリジナルの栽培方法は確立しつつある。

大学時代に学んだ植物生理学の知識をベースに徹底した栽培管理をしており、イチゴの潜在能力を引き出すため、いまでも大学との連携や文献からの情報収集を



イチゴの出来栄に自信あり

欠かさない。さらに、ハウスの建設・運用に必要な土木・電気工学の知識も独学するなど、事業運営に必要な知識もマスターした。

「論文を読めば、栽培方法の新しい技術はたくさん出ている。その中で、日射量の少ない亀岡の気候・土地条件にあったものを選び出し、いかに適応できるかが腕の見せどころ」と戸田さん。品種は「女峰」一本に絞り、「よそとは一味違うイチゴだねと言ってもらえるよう頑張りたい」と意気込む。

販売もイチゴ狩り(5月初旬～6月下旬)をはじめ直売所、百貨店、東京や京都市内の一流洋菓子店への直販など幅広く手がけており、来園者は初年度(2018年)に早くも3,500人を数えた。

ジェラート加工に夢広がる

農園のメンバーは現在、戸田さん、常雇用の林さんとパート従業員さん、栽培研究員の計5名。元保育士の林さんはイチゴ産地出身で、農園開設当時から栽培を担当、今では独り立ちできるまでに成長した。「ど

んなに栽培方法に工夫をこらしても、それを活かす人材がいなければ価値はない。そういう意味で、スタッフは本当に大切である」と、戸田さんの口元が緩む。

目下の課題は、安定した経営基盤の確立だ。高価格で取引してくれるパティシエへの販路開拓はなんとか目処はついたが、もともとイチゴは廃棄率が高い。このため廃棄ロスを極力なくそうと、目下、ジェラートを商品開発中だ。レシピはほぼ出来上がっており、来年度には加工場を新設する予定で、「イチゴをふんだんに使用したジェラートを京阪神方面へ直売したい」と夢を膨らませる。

地域の支えがあつてこそ

「周囲の支えがないと、決して農業はうまくいかない」戸田さんの口ぐせである。地元の人間関係や仲間とのつながりを大切にしている。ときとして厳しい状況に直面することもあるが、農業はJ A、行政などの支援体制が比較的整っていることから、「決意さえ本物ならやりがいは十分」と強調する。

「農業の世界では自分はまだまだ未熟者。いろんな人が手を差し伸べてくれるので何とかやっていける。だから地域農業のためになにか貢献できれば…」。新規就農として地元を受け入れてもらい、今ではすっかり地域のイチゴ農家だ。



ジェラートの開発にも挑戦

九条ねぎブランドを さらなる高みへ — 毎日出荷、顧客ニーズに柔軟に対応 —



ロックファーム京都（株）を支えるスタッフたち（手前中央が村田さん）



ロックファーム京都 株式会社 久御山町

- 代表取締役 村田 翔一
- 設立年月 2019年1月
- 資本金 100万円
- 労働力 社員4名
パート雇用19名：男性5名、女性14名（うち外国人技能実習生4名）
- 機械設備 トラクター、播種機、定植機、ネギ洗浄機、袋詰め機など
- 事業内容 「九条ねぎの周年栽培」
経営規模：露地8.5ha（久御山町5ha、亀岡市2.5ha、旧京北町1ha）
その他事業：ホワイトコーン、レモンなど

農業の“常識”を覆したい

代表取締役の村田翔一さん(33)は、2018年3月に10年間勤めた消防士を辞めて実家で就農した。その就農の仕方がまたユニークである。

就農前の実家は、母親とパートさんで切り盛りしている程度だった。それも人手に頼っていて、どうすれば人が働きやすいか、生産計画の立て方など、マネジメントはもっぱら村田さんが休みの日にこなしていた。そして「魅力がないといわれる農業でも、マネジメントのやり方次第でこれまでの常識を覆すような経

営は可能だと思い、農業に専念することを決意した」と振り返る。



「ワクワクしない仕事はない」と村田さん



法人を担う社員とともに（左から川口さん、田中さん、村田さん、黒川さん、岩城さん）

実際、就農準備と並行していきなり亀岡市、旧京北町でも農地を借り受けるという先行投資のスタイルは起業家そのもの。最初から九条ねぎ一本に絞って瞬く間に成果を上げ、1年目の去年は売上高6,500万円を突破、今年は早くも当面の目標である「1億円」を達成しそうな勢いだ。

「新しきことに挑戦しよう」

農園入り口には「常に現状に満足せず、明るくポジティブに農業の可能性を探求する…」という経営理念と、ロック6カ条（ワクワクしない仕事はしない・すべての出会いに感謝しよう・古きを大切に新しきことに挑戦しよう…）が掲げられている。

こうした信念のもと、キャリアを積んだ人材が集まった。募集にあたってはWebなどを活用、30名以上を面接したという。現在、消防士時代の元上司だった黒川誠さん（60）、大阪府出身の田中良祐さん（26）、和歌山県出身の川口陽平さん（36）、山口県出身の岩城昌宏さん（32）の4名の社員が活躍中で、2020年春からはもう1名（新卒・高知大学出身）加わる予定だ。

「各自が自分で考え、これをやりたいという品目があれば提案、挑戦してほしい。しっかりフォローアップもするし、やりがいも感じることができる」と村田さんはスタッフにエールを送る。仕事の自由度は高く、やがて独立を希望するなら後押ししたいという。

川下に情報のアンテナ

村田さんが心がけているのは、第一に、お客様との関係づくり。第二に、品質の高いものを周年安定供給すること。第三に、顧客満足度を上げるための提案力、



▲「すべての出会いに感謝しよう」
—外国人実習生も大切な家族だ

たとえば人気のホワイトコーン、レモン栽培も手がけるなど、常に消費の動向にアンテナを張り巡らせ、収益性の高い農業をめざしている。



▲妻の秀美さんは経理の手伝いをして経営を支える

「ただ守るだけでなく、変化し続けなければブランドを継続していくことはできない」と村田さん。「九条ねぎという先人が築き上げてきたブランドに甘んじることなく、さらなる高みに持っていくことが私たちの使命」と言ってはばからない。

同じ志のメンバーとともに

村田さんはまた、「とらこ(株)・八幡市(代表 山本将人)」、「(株)あぐり翔之屋・木津川市(代表 森上翔太)」とともに今年7月に設立した、九条ねぎに特化した生産プロチーム「京葱SAMURAI(株)」の代表も務めている。

個々に農業法人の若手経営者が高品質のネギの周年安定供給をモットーに立ち上げたもので、3法人合わせると、総経営面積約30ha、出荷量は年間1,000tを超える。機械の共同利用や労働力の融通を行いながら互いの強みを引き出しており、共同選果調整施設の建設構想も。

「3人が同じ志を持って集まり、各々の強みも弱みもわかっている。いままで誰もやったことがない、グループを組んでやっていくというモデルをつくり上げていきたい」。将来はグループで「総経営面積100ha・出荷量年間5,000t」そんな青写真を描いている。



京葱SAMURAI(株)のメンバー
左から山本さん、村田さん、森上さん

消費税の軽減税率

ガイドラインに関する具体的な例・イメージ

価格設定に関する考え方（ガイドライン1. 関係）

宣伝・広告に関する規制

○ 禁止されない表示

「10月1日以降〇%値下げ」などの表示は問題ない




✕ 禁止される表示

「消費税還元セール」など、消費税と直接関連した宣伝・広告は禁止



適正な転嫁の確保（ガイドライン2. 関係）

転嫁Gメンによる監視
関係機関による周知

（転嫁拒否する側）
小売事業者
下流の事業者

✕ 転嫁拒否等の行為

- 消費税増税分の減額要請 など
- 利益提供の要請 など

（転嫁拒否される側）
下請事業者
上流の事業者

その他（ガイドライン3. 関係：税抜価格として表示できる例）

税込価格と誤認されないための措置の具体例（総額表示義務の特例関係）

① 個々の値札等において税抜価格であることを明示する例

〇〇〇円(税抜価格)
〇〇〇円(税別)
〇〇〇円(本体価格)
〇〇〇円+税
〇〇〇円+消費税

② 店内における掲示、チラシ等における表示により一括して税抜価格であることを明示する例

個々の値札等又は個別の商品価格の部分には、「〇〇〇円」と税抜価格のみを表示し、別途、消費者が商品等を選択する際に目につきやすい場所に、明瞭に以下のような表示を行うことが考えられる。

当店(本チラシ)の価格は全て税抜表示となっています。

「消費税率の引上げに伴う価格設定について（ガイドライン）」
内閣官房・公正取引委員会・消費者庁・財務省・経済産業省・
中小企業庁より

京都府農業経営相談所からのお知らせ

●「農業経営」の疑問、不安、お困りごとについて「どんなこと」でも農業経営相談所にご相談ください！

（一社）京都府農業会議は経営意欲のある農業者が創意工夫を活かした農業経営を展開できるよう「京都府農業経営相談所」を設置。

個々の農業者の経営課題に沿った、適切なアドバイスができる相談体制を整えています。

経営診断や専門家の派遣等も活用いただけます。

多くの農業者の方々の利用をお待ちしています。

●農業経営法人化支援事業

京都府農業経営相談所の経営診断・相談を活用し農業経営を法人化した集落営農等に定額40万円が支援されます。

複数経営の法人化や法人同士の統合等による新たな法人の立ち上げ等も対象になります。詳しくは、京都府農業経営相談所にお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ】

京都府農業経営相談所（（一社）京都府農業会議内）

TEL:075-417-6847 FAX:075-417-6870

● 京都府農業法人経営者会議表敬訪問 ●

6月7日(金) 中華人民共和国四川省江油市(こうゆし)から

王 宇氏(中国共産党江油市委員会弁公室)、王 琳鈴氏(中共江油市外事工作委員会辦公室)が、京都府農業法人経営者会議を表敬訪問されました。(通訳：禎祥(株)：王 辰宇氏)

江油市は、群馬県沼田市の姉妹都市で、特に江油市の市長が「京都の農業」に関心をもたれており、今回の訪問となりました。

江油市

- ・ 四川省の県級市、人口88万人、総面積2,719km²
- ・ 農業／米、トウモロコシ、小麦、アブラナなどの生産が盛んな穀倉地帯
- ・ 四川省の省級歴史文化名城に指定される町で、唐代の著名な詩人・李白の故郷としても有名で、主要な景勝地や観光地には寶圖山、観霧山、大匡山、李白の故里、太白公園、白龍宮、仏爺洞、金光洞、猿王洞、雲岩寺等がある。



右から王 琳鈴氏、王 宇氏

当日は、江油市の概要について説明を受けた後、京都府の農林業の概要、京都府農業法人経営者会議の組織体制、事業概要等について説明を行いました。

意見交換は、次のような内容でした。

- ・ 江油市は油、養豚、果物生産等の生産に対し、質等にはまだまだ課題があり、生産管理、品質管理等についての知識をもっと学んでいきたい。
- ・ 中国にも、法人協会のような組織があるが、活動がもっと活発になるように取組んでいきたい。

京都の法人協会の組織体制や事業内容についても学んでいきたいと考えている。

- ・ 今回の訪問は、交流をお願いすることが一つの目的であり、京都の農業の品質管理や経営組織の活動状況等について意見交換会等を行っていきたい。

今後、お互いの交流が盛んになる事を期待しています。



● 交流サロン開催 ●

京都府農業法人経営者会議では、農業法人の経営者や若手農業者が気楽に意見交換、交流するための「交流サロン」を、7月4日(木)丹後王国、7月25日(木)こと京都(株)向島工場で開催しました。

今回は、京都府農業共済組合から、昨年度から制度

が始まった「収入保険制度」について、京都府から、「スマート農業」についての情報提供をいただき、質疑や出席者それぞれの近況や課題を出し合いながらの情報交換、交流の場となりました。



北部会場



南部会場

農業法人

ニュース

—京都府農業法人経営者会議の取り組み—

■令和元年度 第24回京都府農業法人経営者会議総会を開催

6月25日(火)、ルビノ京都堀川において、令和元年度第24回京都府農業法人経営者会議総会と経営力向上セミナーが開催されました。

総会では、平成30年度事業報告・決算報告、令和元年度事業計画・予算が提案され、原案どおり承認されました。

また、組織の更なる充実を図っていくために、副会長を現行の「3人」から「4人」に1人の増員についての規約の一部改正についても承認され、任期満了に伴う理事及び監事の選任を行い15名の方々を選任され、総会を終了されました。



山田会長あいさつ



新たに承認された理事、監事

総会終了後、新たな理事及び監事により、役員会が開催され、こと京都(株)代表取締役 山田敏之氏が会長に再任されました。

今期の役員に就任された方々は、以下のとおりです。

会長 こと京都(株)	代表取締役 山田 敏之氏
副会長 (農)日本海牧場	代表理事 山崎 高雄氏
副会長 (有)オアシスランド	代表取締役 大崎 克巳氏
副会長 (株)農夢	代表取締役 四方 勝一氏
副会長 (株)村田農園	代表取締役 村田 正己氏
監事 (農)美山おもしろ農民倶楽部	代表 外田 洋一氏
監事 京和あずま(株)	取締役 東 テル子氏
理事 (株)京都知七	代表取締役 重 義幸氏
理事 (有)京都ファーム	代表取締役 梶谷よしみ氏
理事 (株)山末農園	代表取締役 村田 和弘氏
理事 (株)あぐり翔之屋	代表取締役 森上 翔太氏
理事 辻製茶(有)	代表取締役 辻 幸博氏
理事 (株)新田農園	代表取締役 新田 尚志氏
理事 (株)西陣屋	代表取締役 田中 武史氏
理事 (株)野木源	代表取締役 野木 武氏

また、役員会において(株)杜若園芸 代表取締役 岩見悦明氏を顧問として選任されました。

(任期：令和元年6月25日から令和3年度総会開催日)

新役員

右から 会長 山田敏之氏
副会長 大崎克巳氏
副会長 四方勝一氏
副会長 村田正己氏
副会長 山崎高雄氏
監事 東テル子氏
顧問 岩見悦明氏



今回、監事を退任された(有)クローバーリーフ取締役 西窪あけみ氏、理事を退任された白岩恒美農園代表 白岩千尋氏には、多年にわたり経営者会議の発展に御尽力いただきました。

■経営力向上セミナー『部下』がやる気に燃えるリーダーの言葉がけ

総会終了後、経営力向上セミナーが開催され、一般社団法人人財開発フォーラム理事長 飯山昶朗氏が「『部下』がやる気に燃えるリーダーの言葉がけ」と題して講演され、農業経営者ら75名の参加がありました。

講演は、脳科学に基づき、スポーツ選手等のコーチングの経験から、

- ①目標の管理(目で見えるように：ビジネスプランの数値化)
- ②イメージの管理(実現しようとする)
- ③感情の管理(人は感情で動く)

について講演をいただきました。

「社員のやる気を出してもらうには経営者がワクワクできるようなビジョンを掲げ、プラスの言葉がけをすることにより、会社の雰囲気や従業員の仕事に対する意識もプラスに変わってくる」

「言葉と動作の繰り返しにより、無意識に出来るようになってくる」「誰かのために何かを成し遂げるという意識が大切」とされました。参加者からは、多くの質問が出され質疑応答が行われました。



講師：飯山昶朗氏



編集局から

◆京都府農業法人経営者会議会長に再任された、こと京都(株)代表取締役 山田敏之氏は(公社)日本農業法人協会会長にも再任されました。

今後、益々の御活躍を期待します。

◆今年は梅雨の影響で、日照時間も少なく農業生産にも影響がでていると思います。

そのような中、今回も1人の新規就農者と1人の若手経営者を

取材させて頂きました。

農業に希望を抱き、転職した2人。

地域への貢献と自分の夢を追いかけておられます。

お二人とも、ご自分の進むべき方向と、ビジョンをお持ちでした。

彼たちの周りには多くの若い社員が働いていました。

今後の活躍に期待したいと思います。

取材を快くお受け頂きました。ありがとうございました。

発行／2019年8月

発行者 (一社)京都府農業会議

〒602-8054 京都市上京区出水通小路東入丁子風呂町104-2 京都府庁西別館内 TEL.075(417)6847